

## はじめに

近年、少子高齢化や、核家族化、地域のつながりの希薄化等、社会環境が大きく変化する中で、子どもが他者とふれあいながら、知・徳・体の調和のとれた生きる力を身に付けることができるよう、学校、家庭、地域が連携・協働して地域全体で子どもたちを育成していくことが一層重要となっています。

こうした中、本県におきましては、「未来を拓くたくましい『やまぐちっ子』の育成」を教育目標とする教育振興基本計画の「10の緊急・重点プロジェクト」の一つに「地域ぐるみの教育推進プロジェクト」を掲げ、保護者や地域住民が学校運営に参画するコミュニティ・スクールの設置促進とともに、地域ぐるみで子どもたちを見守り、支援するための仕組みである「地域協育ネット」の取組を市町教委との連携により県内全域で推進し、今年度、全中学校区に「地域協育ネット」協議会を設置することができました。

また、新たな県政運営の指針である「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」においても、人材活力創造戦略の重点施策に「社会総がかりの地域教育力日本一」の取組の推進を掲げており、今後は「『地域協育ネット』による日本一の『学校、家庭、地域の温かい絆づくり』」を一層進めてまいりたいと考えております。

言うまでもなく、子どもたちの「生きる力」は多様な人々とかかわり、様々な体験を重ねていく中で育まれるものであり、学校だけで育成できるものではありません。一方、地域や家庭においても、人間関係の希薄化や育児不安の広がり、児童虐待等、様々な課題が指摘されており、住民同士の絆づくりや豊かなつながりの中での家庭教育支援の充実が一層求められています。

「地域協育ネット」は、中学校区における豊かなつながりの中での地域住民の学校運営への参画、地域力を生かした学校支援や家庭教育支援、学校の力を生かした地域貢献等、まさに学校を核とした人づくりと地域づくりの一体的な推進を図ろうとするものであります。

この事例集では、「地域協育ネット」にかかわっておられる様々な方の声を紹介するとともに、「地域協育ネット」の概要、市町教委の協力を得て指定した43の推進協力校区の取組、関連事業についてまとめ、各校区における「地域協育ネット」の取組の参考となるように内容を工夫しています。各市町教委、各学校及び関係団体等におかれましては、この事例集を参考にされて、地域の特色を生かし、多様性と柔軟性のある「地域協育ネット」の充実を図っていただければ幸いです。

おわりに、本事業の推進に御尽力いただいております地域の支援者の皆様をはじめ、関係各位に心から感謝申し上げます。

平成27年3月

山口県教育委員会  
教育長 浅原 司